



2023年度

日本輸血・細胞治療学会 精度管理調査

実態調査集計報告

日本輸血・細胞治療学会
精度管理小委員会

概要

- 回答期間 : 2023年11月13日～12月10日
- 参加施設 : 234施設
- 回答施設 : 234施設 (100%)

輸血検査体制に関して

1-1 自動輸血検査装置の使用状況

232／234 99.1%

2-1 ABO血液型、RhD血液型

- すべての検査を自施設で実施
231／232 99.5%
- その他
1／232 0.5%

3-1 不規則抗体スクリーニング

- すべての検査を自施設で実施
232／232 100%

輸血検査体制に関して

4-1 不規則抗体同定検査

- すべて自施設で検査している
228／234 97.4%
- 夜間・休日時（通常時間以外）は外注
1／234
- すべて外注
5／234

輸血検査体制に関して

5-1 交差適合試験

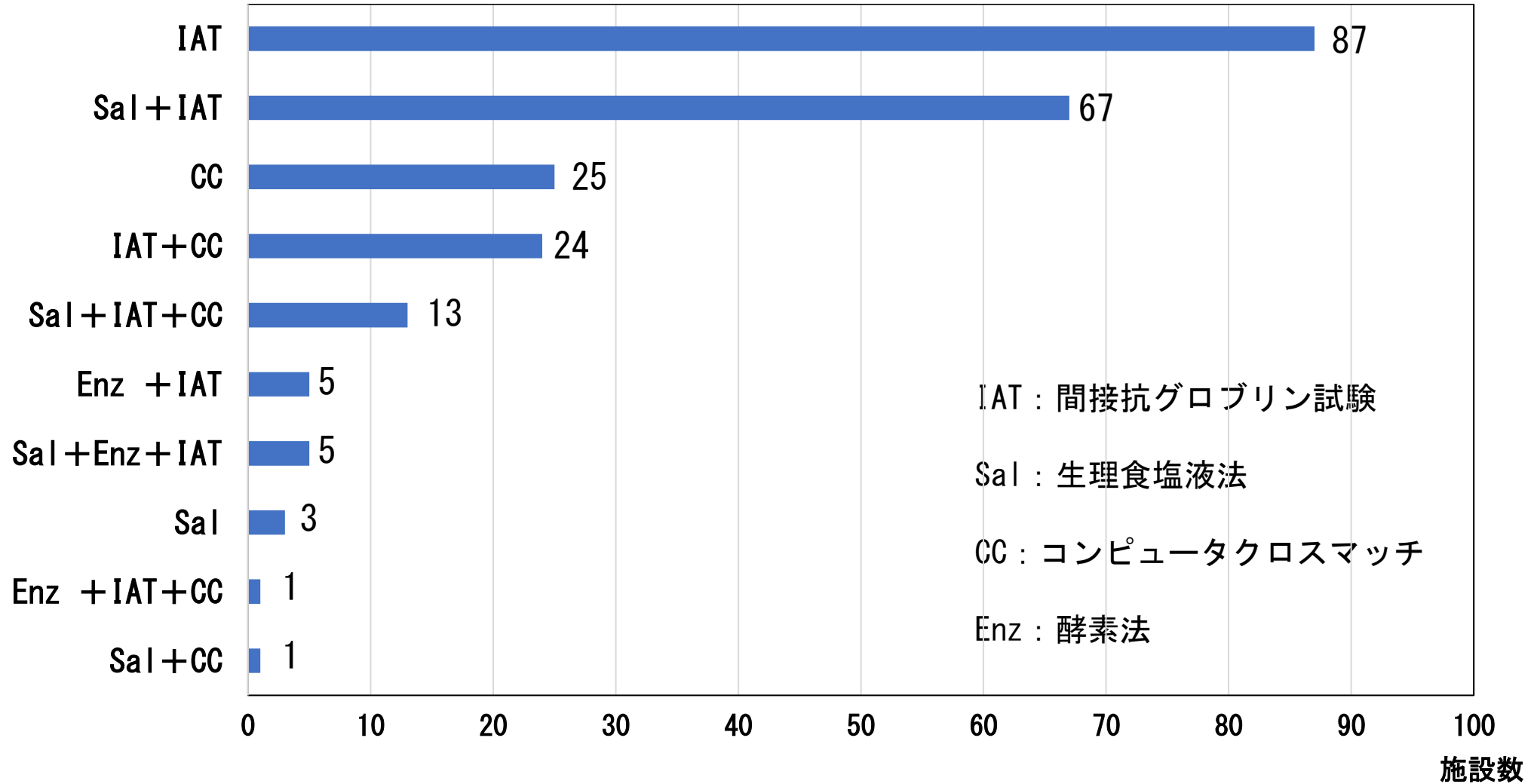
- すべて自施設で検査している
231／234 97.4%

- 未回答
3／234

* 未回答はいずれも日本赤十字血液センター施設

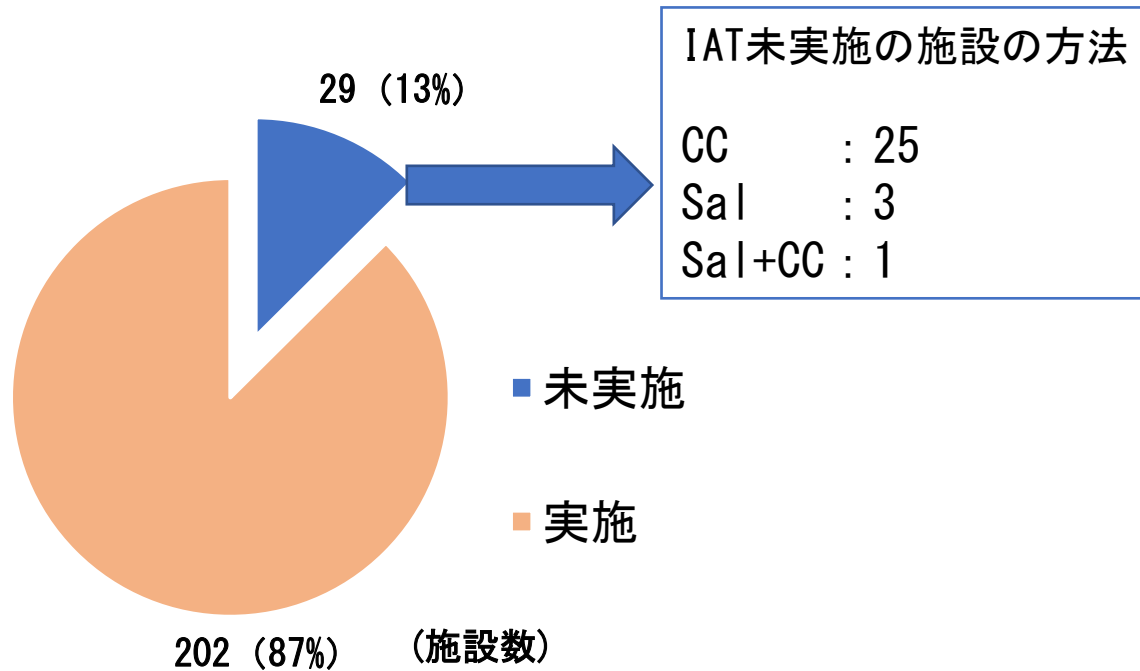
交差適合試験の検査体制

5-2 交差適合試験の主な方法

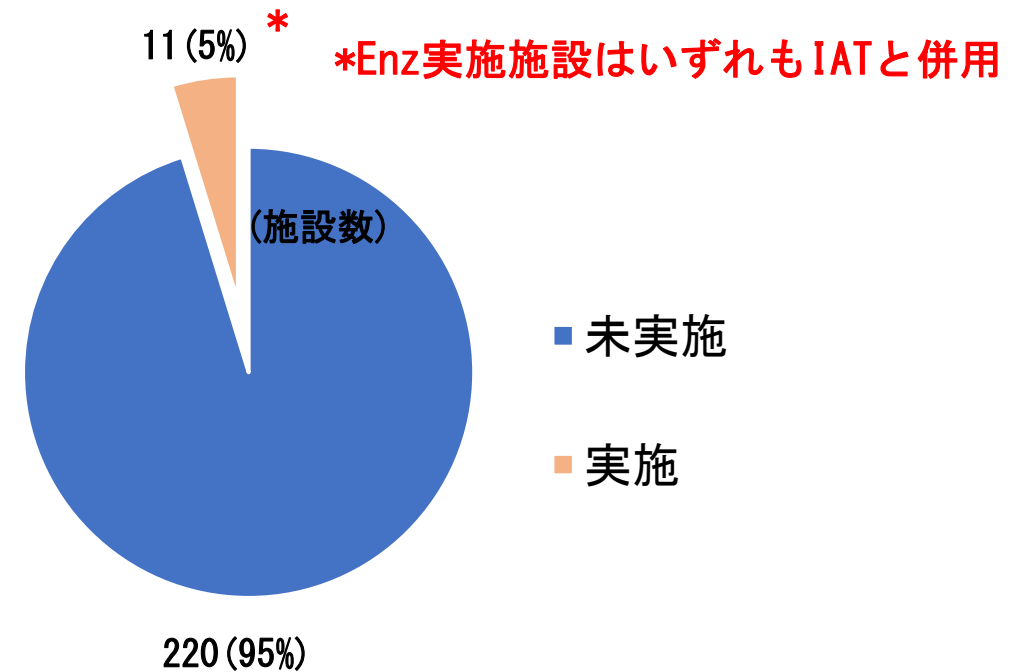


交差適合試験 方法別の頻度

IAT（間接抗グロブリン試験）

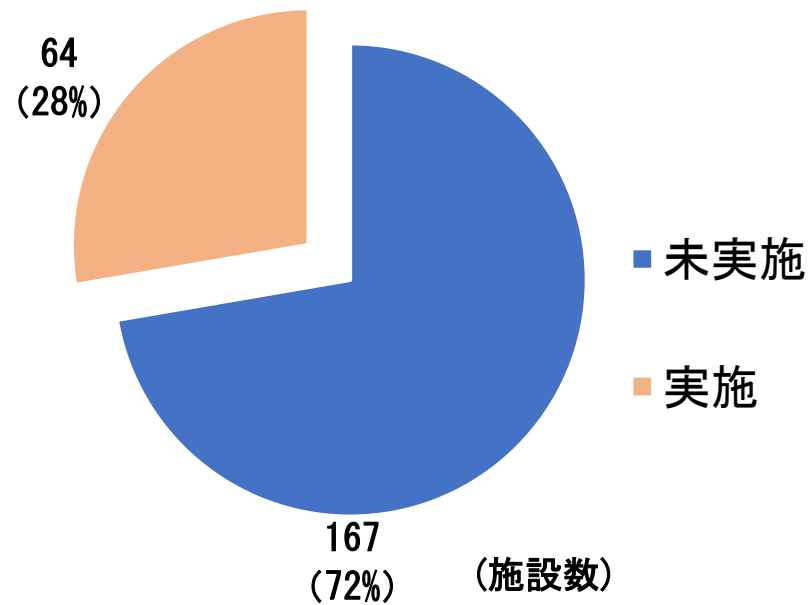


Enz（酵素法）



交差適合試験 方法別の頻度

CC (コンピュータクロスマッチ)



CC実施 64施設の詳細

CC単独	: 25
CC+IAT	: 24
CC+Sal+IAT	: 13
CC+IAT+Enz	: 1
CC+Sal	: 1

日赤製剤（赤血球）の血液型確認について

5-3-1 ABO血液型の確認検査

ABO血液型	施設数
すべて実施	142
一部または必要時のみ実施	50
未実施	37

* 日本赤十字血液センター、健診施設等は除く

すべてもしくは一部（必要時）実施

192 / 229 83.8%

コンピュータクロスマッチ実施 64施設

64 / 64 100%

5-3-2 抗原陰性血の因子確認検査

因子確認	施設数
すべて確認している	72
確認していない	142
夜間・休日時は未確認	11
その他	4

* 日本赤十字血液センター、健診施設等は除く

製剤管理について

6-1-1 輸血用血液製剤（血漿分画製剤除外）管理

管理部門	施設数
輸血検査部門	227
薬局	2

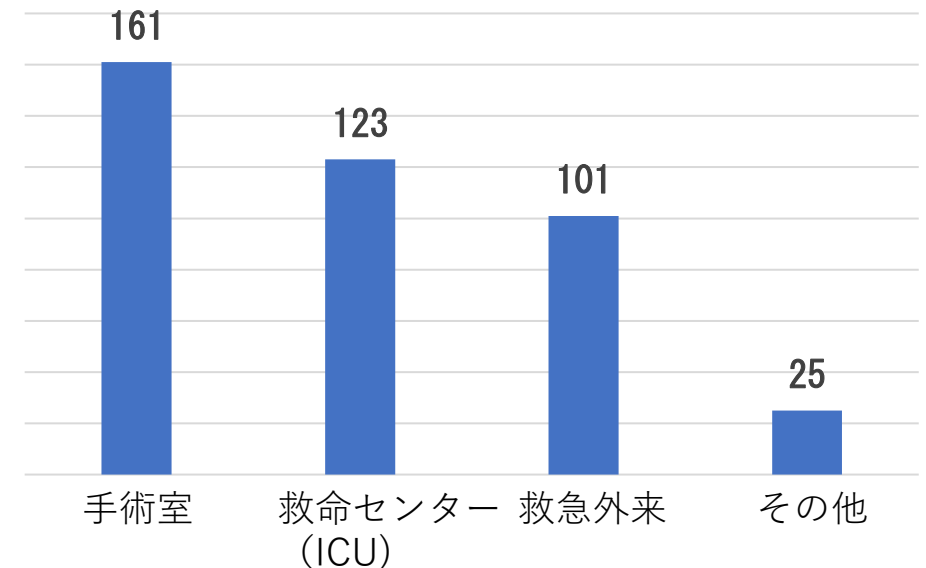
6-1-3 アルブミン製剤の定数在庫

管理部門	施設数
定数在庫はない	46
定数在庫場所がある	182
未回答	1

6-1-2 アルブミン製剤管理

管理部門	施設数
輸血検査部門	153
薬局	74
その他 ※2	2

定数保管場所（複数回答） n=228



* 日本赤十字血液センター、健診施設等は除く

輸血用血液製剤保管庫について

6-2-1 輸血用血液製剤（血漿分画製剤除外）管理

保管庫	施設数
輸血専用保冷库	227
薬品保冷库	2

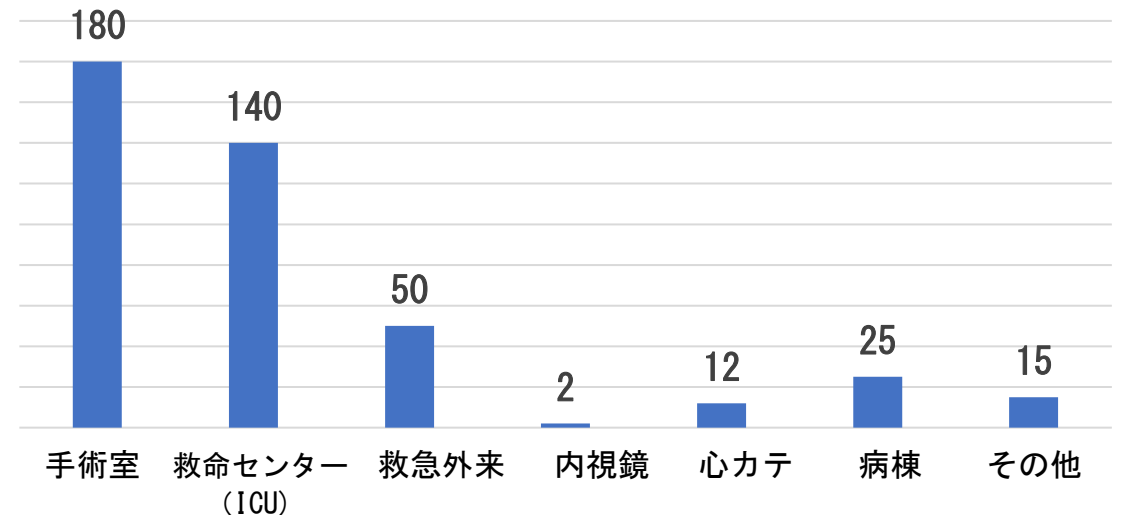
6-2-2 保冷库の温度管理機能

管理部門	施設数
自式記録計および警報装置	193
温度監視システム	35
警報装置のみ	1

6-2-3 輸血管理部門以外の一時保管場所

管理部門	施設数
一時保管場所はない	38
一時保管場所がある	191

一時保管場所（複数回答） n=229



* 日本赤十字血液センター、健診施設等は除く

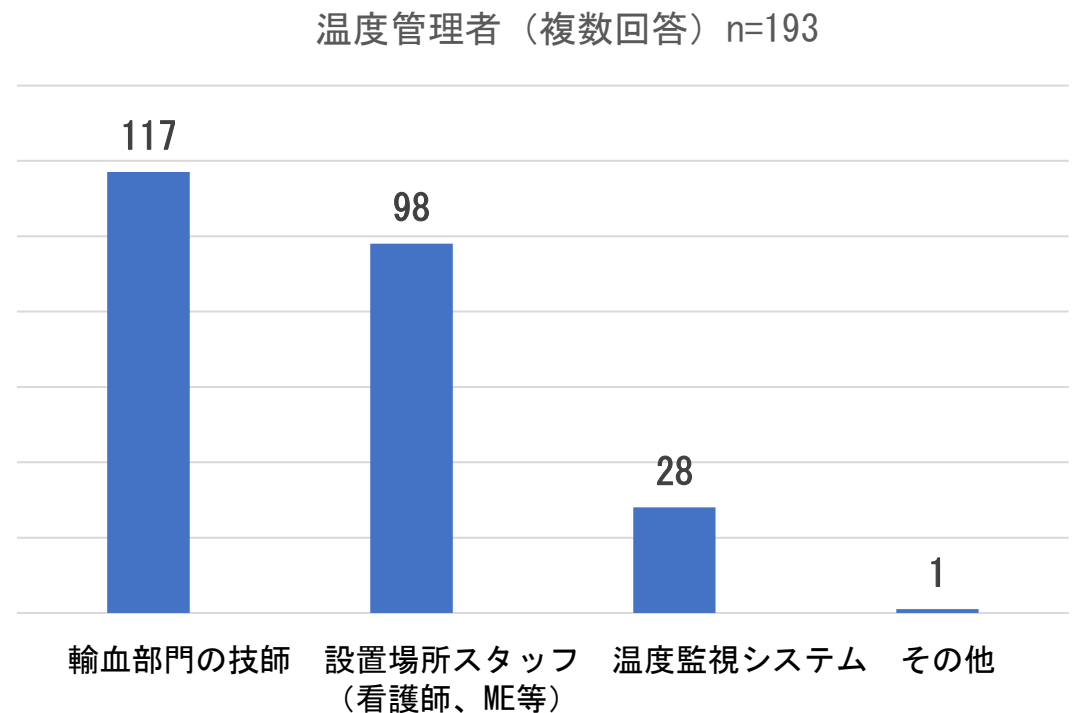
保冷库温度管理について

6-2-4 一時保管場所含めた保冷库温度管理

温度管理	施設数
設置保冷库すべて実施	193
輸血検査部門のみ実施	34
その他	2

* 日本赤十字血液センター、健診施設等は除く

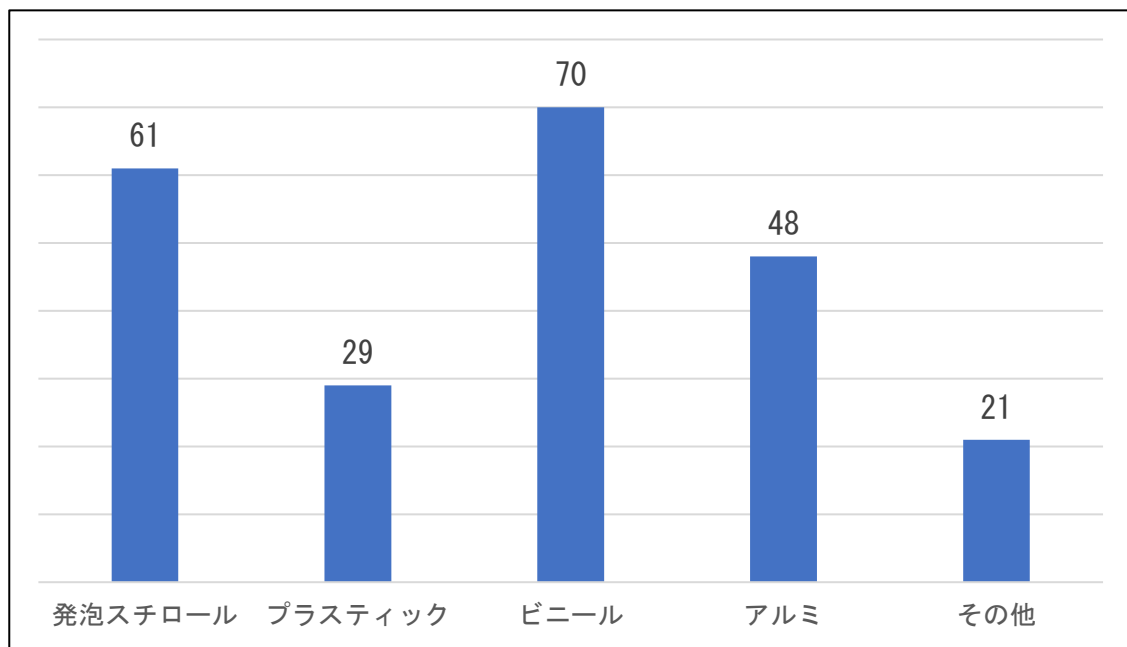
6-2-5 設置保冷库すべて管理している193施設 一時保管場所の保冷库の温度管理 担当



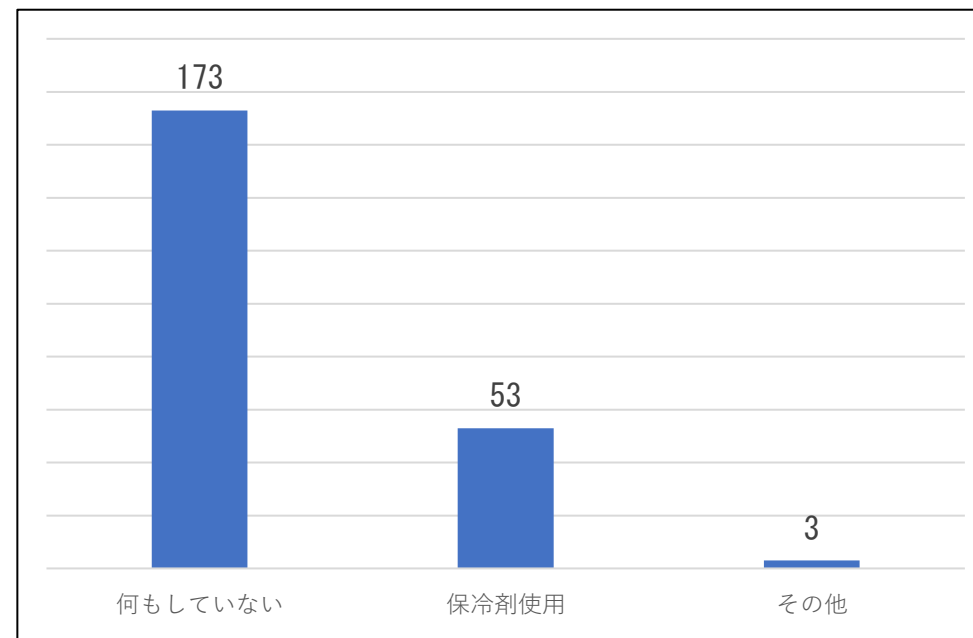
* 日本赤十字血液センター、健診施設等は除く

搬送用容器について

6-3-1 搬送容器（複数回答）



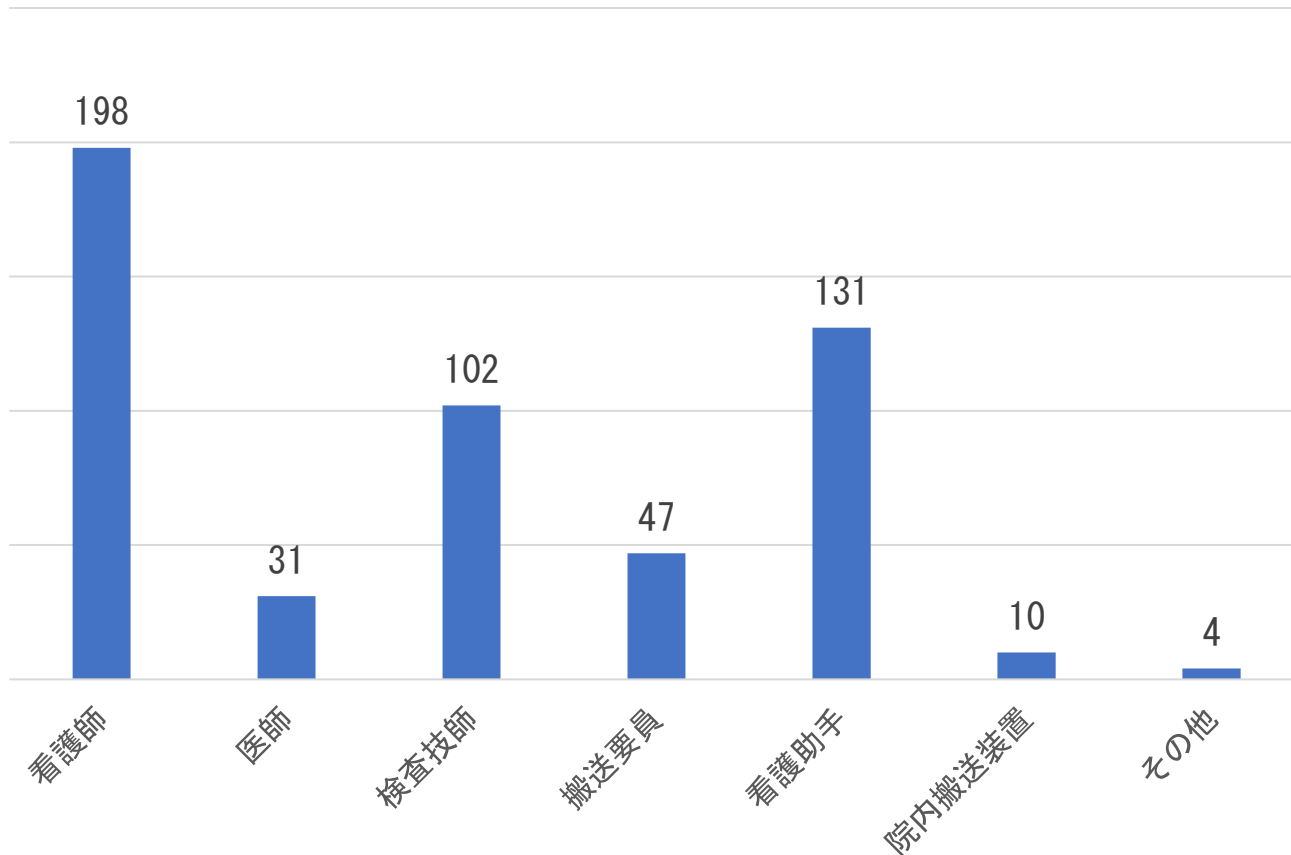
6-3-2 搬送容器の保冷方法



* 日本赤十字血液センター、健診施設等は除く

輸血用血液製剤の搬送

6-3-3 輸血用血液製剤の主な搬送者（複数回答）



* 日本赤十字血液センター、健診施設等は除く

6-3-4 搬送者の教育実施者

教育実施者	施設数
搬送場所のスタッフ （医師、看護師等）	132
輸血検査部門の技師	73
特に教育は行っていない	20
その他	4

保冷機能付き血液運搬装置（ATR）について

6-3-5 ATR保有の有無

ATR保有	施設数
はい	39 (17.0%)
いいえ	190 (83.0%)

6-3-6 ATR使用について（複数回答） n=39

使用状況	
保冷庫の無い部署の輸血時	12
院外への搬送 （在宅輸血、Drヘリ・Drカーによる搬送）	11
緊急輸血、大量輸血時	11
手術室	7
緊急輸血時の備え（現場で常時設置）	2
現在使用していない、使用方法検討中	5

* 日本赤十字血液センター、健診施設等は除く

検査技師による患者への結果説明について

7-1-1 説明実施の有無

説明実施	施設数
はい	39 (17.0%)
いいえ	190 (83.0%)



7-2-1 説明の項目（複数回答） n=39

説明項目	
ABO、RhD血液型	14
不規則抗体検査	38
その他	2

7-2-2 説明のツール

説明ツール	施設数
不規則抗体カード、輸血関連情報カード	38
その他	1

* 日本赤十字血液センター、健診施設等は除く

検査技師による輸血承諾書（同意書）取得の予定について

8-1 取得予定の有無

今後の予定	施設数
取得予定あり	9
取得予定なし	136
わからない	69
実施済み	9
その他	1
未回答	2

8-2 臨床からの要望

病床数	施設数
ある	17
ない	179
わからない	31
未回答	2

* 日本赤十字血液センター、健診施設等は除く

精度管理調査で「評価C」または「評価D」の場合、 二次サーベイは必要性について

9-1 二次サーベイの必要性

必要性	施設数
必要	106
不要	126
未回答	2

9-2 二次サーベイが必要なご意見

必要な理由	
是正対応（是正処置）のため	21
ISO認定施設（ISO上の是正対応）	19
再検査、再確認、再検証したい	21
原因を究明したい	14
知識や技術の向上のため	10
業務改善のため	7
その他	7

その他のご意見（要約）

- ・ 無料であれば。料金により検討したい。
- ・ 「評価C」や「評価D」が数回続き、改善しない場合に希望する。
- ・ サポートが必要。
- ・ 自施設のみで検討は不安。
- ・ 二次サーベイのある精度管理調査は貴重。
- ・ 機会あれば再挑戦したい。
- ・ 患者の命に直結する事故を防ぐため、指導や改善は行った方が良い。